

マイライブラリカード

Note

PrimoではなくPrimoVEを使用している場合、詳細については、[PrimoVEの追加の図書館カードの設定](#)を参照してください。

[メニューに戻る](#)

Primoのマイライブラリカードページには、Primoのメカニズムを介したOPACを使用してAlmaからのエンドユーザーのライブラリカード情報(貸出、リクエスト、罰金など)が表示されます。これにより、PrimoはILS ゲートウェイを介してAlmaから情報をリクエストし、Primoのマイライブラリカードページに情報を表示できます。Primoを使用したOPACの仕組みの詳細については、「[Primoを使用したOPACの仕組み](#)」を参照してください。

Primoの機関設定にapi_base基本URLが含まれている限り、PrimoはPrimo経由でOPACを呼び出しマイライブラリカード機能を使用することができます。機関の設定の詳細については、「[Primo機関の設定](#)」を参照してください。

また、マイライブラリカードページに表示される情報(貸出やリクエストの詳細表示にあるフィールドなど)をカスタマイズできます。詳細については、「[Primoを使用したOPACの設定](#)」を参照してください。

ネットワークゾーンで作業する場合、ユーザーはマイライブラリカードメニューから機関を選択することで、マイライブラリカードからすべてのアカウントを表示できます。

ユーザー情報の更新

Almaが許可する場合、マイライブラリカード > 個人設定の自分の基本設定セクションで、ユーザー自身の個人情報を更新できます。

ユーザーがPrimoから自身のユーザー情報を更新できるようにするには、Almaの顧客パラメータテーブル([\[設定メニュー\]](#) > [\[一般\]](#) > [\[一般的な設定\]](#) > [\[その他の設定\]](#))でprimo_patron_info_updatableパラメータをYに設定します。

The screenshot shows the 'My Library Card' interface. The 'Personal details' section includes fields for Address (7th Avenue, Evergreen Pkwy2), City (NEW YORK), Zip (32154), Valid From (08/07/23), Telephone 1 (123), My e-mail (hanan.cohen@clarivate.com), and SMS Number (975ADZXC250-123-2322). There is an 'EDIT' button. The 'Personal settings' section includes toggle switches for 'Allow saving my search history' (checked), 'Use my search history for the recent search suggestions' (unchecked), and 'Automatically extend my session' (checked). There is also a dropdown for 'Default interface language' set to 'English' and an 'UPDATE LOGIN CREDENTIALS' button. At the bottom, there are checkboxes for 'Activity Report', 'Overdue Notice', 'Recall Letter', 'Courtesy letter', 'Loan Status letter', and 'Recall Cancellation letter'. 'Overdue Notice' and 'Recall Cancellation letter' are checked.

個人情報と設定タブ - マイライブラリカード

セルフチェックマシンPINの更新

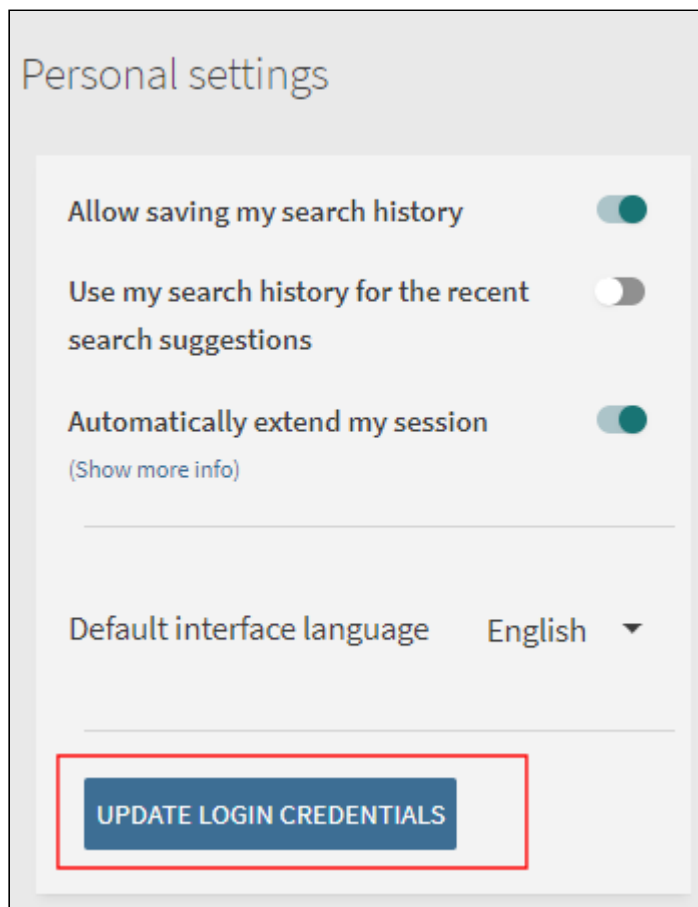
「マイライブラリーカード > 個人設定」にある「ログイン情報の更新」セクションでは、Alma ユーザーが自分の PIN やパスワードを取得、表示、変更することができます。PIN コードは主に、セルフチェック (SIP2) 端末を使用している機関で利用されます。これらの機関では、セルフチェック端末を使用する前に、エンドユーザーに Primo または Primo VE 上で新しい PIN コードを作成するよう依頼する必要があります。セルフチェック端末では PIN コードのリセットができないためです。

次の制限が適用されます。

- パスワードの更新は、共同ネットワークのユーザー(機関に関連付けられていないものの、機関からフルフィルメントサービスを受けることができるユーザー)に限定されています。
- PINの更新は、PIN (必要な認証は、セルフチェックマシン統合プロフィールで【はい】に設定されています - [セルフチェックマシン](#)を参照してください) を使用し、Almaの顧客パラメータテーブル (【設定メニュー】>【ユーザー管理】>【一般】>【その他の設定】) で `use_pincode_for_selfcheck_machine` パラメーターが `true` に設定されている Alma 環境でのみ許可されます。

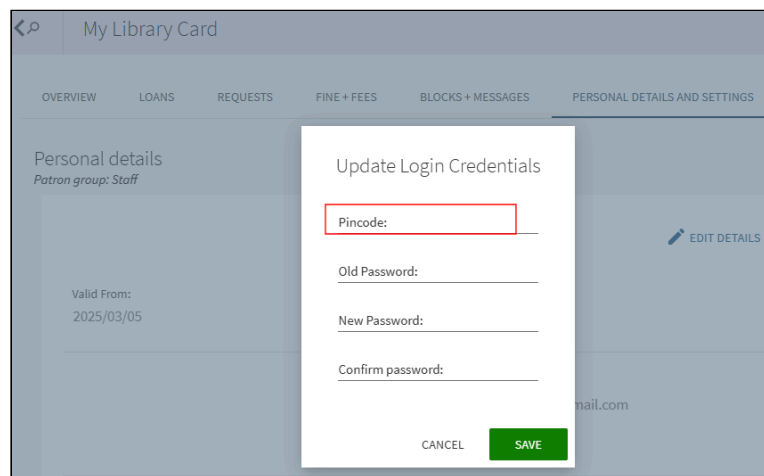
Primo VE の UI から PIN を更新するには:

1. マイライブラリーカードを開き、「個人情報」タブを選択してください。
2. ログイン情報の更新を選択して、ダイアログボックスを開いてください:



ログイン資格情報セクションの更新 - 個人設定

3. PINコードを追加して保存を選択します。



PINコードのアップデート

Note

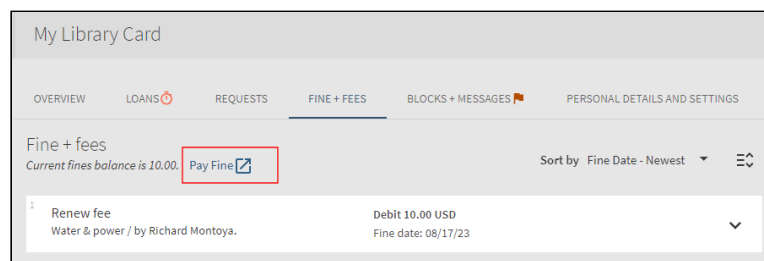
Almaで許可されていない場合、ログイン認証情報フィールドの一部またはすべてがマイライブラリカード > 個人設定に表示されない場合があります。

罰金および手数料の支払い

Almaでは、ユーザーがマイライブラリカードを使用してオンラインで罰金および手数料を支払うことができます。Almaの設定情報については、[Primo VEの電子決済システムの設定](#)を参照してください。

Primo? 由で罰金および手数料を支払うには：

1. Primoのマイライブラリカード > 罰金および手数料タブで、罰金リストの上または下にある罰金を支払うリンクを選択します。



マイライブラリカードの罰金および手数料のリンク

Note

罰金リストの上や下に表示されるリンクを設定するには、「[罰金支払いリンクの設定](#)」を参照してください。

2. 電子決済システムの支払いページに移動します。

罰金支払いリンクの設定

WPM エデュケーションの電子決済システム向け罰金支払いリンクの設定

ユーザーがマイライブラリカードを使用してオンラインで罰金を支払うことを許可するには、WPM Education電子決済システムへのリンクを設定する必要があります。Almaの設定情報については、「[WPM Education電子決済システムの設定](#)」を参照してください。

罰金支払いリンクを追加するには：

1. **[Primoホーム]** > **[詳細設定]** ページで、**[すべてのマッピングテーブル]** を選択します。
[すべてのマッピングテーブル] ページが開きます。
2. マイアカウントリンクのマッピングテーブルを含む行で**[編集]** を選択します。
マイアカウントリンクのマッピングテーブルページが開きます。
3. **[新しいマッピング行を作成]** セクションで、次のフィールドを入力し、**[作成]** を選択します。
 - **View ID** – ビューを選択します。
 - **リンクコード** – **fin.es.payfinelink** を選択します。
 - **オーダー** – **1** を指定して、タイトルの罰金/手数料の残高の横にリンクを配置します。
 - **リンクURL** – Almaへの次のリンクを指定します。

```
https://<Almaドメイン>.alma.exlibrisgroup.com/view/FinesFeesPayment/<Alma  
institution code>/do?system=WPM&pds_handle={{pds_handle}}
```

[Almaドメイン名](#)を参照してください。たとえば：

```
https://university.alma.exlibrisgroup.com/view/FinesFeesPayment/01_UNI_INST/  
do?system=WPM&pds_handle={{pds_handle}}
```

4. 変更を保存してマッピングテーブルに配置します。

Note

リンクの名前を変更する場合は、マイアカウントのリンクラベルのコードテーブルで**fin.es.payfinelink**リンクコードのラベルを変更します。

TRANSACT向け罰金支払いリンクの設定

ユーザーがMy Library Cardを使用してオンラインで罰金を支払えるようにするには、TRANSACTシステムへのリンクを設定する必要があります。Almaの設定情報については「[TRANSACT電子決済システムの設定](#)」を参照してください。

罰金支払いリンクを追加するには：

1. 設定 > ディスカバリー > 図書館カード > 支払いリンク設定 のページで、**online_payment_url**パラメータを次のように設定してください：

UndefinedNameError: reference to undefined name 'STORE_URL' (click for details)

Callstack:

at (Alma/Product_Documentation/Alma_Online_Help_(日本語)/060Alma-Primo_の統合/040AlmaデータソースにPrimoフロントエンドを設定/070マイアカウント), /content/body/div[11]/div[2]/div[3]/ol/li/p/span[3], line 1, column 1

?itemcode=

UndefinedNameError: reference to undefined name 'TRANSACT_ITEM_CODE' (click for details)

Callstack:

at (Alma/Product_Documentation/Alma_Online_Help_(日本語)/060Alma-Primo_の統合/040AlmaデータソースにPrimoフロントエンドを設定/070マイアカウント), /content/body/div[11]/div[2]/div[3]/ol/li/p/span[4], line 1, column 1

&amount=

UndefinedNameError: reference to undefined name 'amount' (click for details)

Callstack:

at (Alma/Product_Documentation/Alma_Online_Help_(日本語)/060Alma-Primo_の統合/040AlmaデータソースにPrimoフロントエンドを設定/070マイアカウント), /content/body/div[11]/div[2]/div[3]/ol/li/p/span[5], line 1, column 1

&empl_id=

UndefinedNameError: reference to undefined name 'userid' (click for details)

Callstack:

at (Alma/Product_Documentation/Alma_Online_Help_(日本語)/060Alma-Primo_の統合/040AlmaデータソースにPrimoフロントエンドを設定/070マイアカウント), /content/body/div[11]/div[2]/div[3]/ol/li/p/span[6], line 1, column 1

&jwt=

UndefinedNameError: reference to undefined name 'jwt' (click for details)

Callstack:

at (Alma/Product_Documentation/Alma_Online_Help_(日本語)/060Alma-Primo_の統合/040AlmaデータソースにPrimoフロントエンドを設定/070マイアカウント), /content/body/div[11]/div[2]/div[3]/ol/li/p/span[7], line 1, column 1

Note

リンクの名前を変更する場合は、マイアカウントのリンクラベルのコードテーブルで**finex.payfinelink**リンクコードのラベルを変更します。

リクエストリストAPIのページングを無効にする

Almaでは、マイライブラリカード>貸出リストでPrimoが提供するページング機能を利用できます。デフォルトでは、

Primoは一括で貸出情報を取得します。設定された一括サイズを超える貸出がユーザーにある場合、Primoはマイライブラリカード>貸出リストページの下部で**その他の貸出を表示**リンクを表示します。それにより、ユーザーは追加の貸出情報を取得できます。

すべての貸出をAlmaから取得する前にユーザーが**更新**または**すべて更新**オプションを呼び出す場合、Primoは、リストの更新リンクで**その他の貸出を表示**リンクを置き換えます。ユーザーは、Almaから更新された貸出リストを表示できます。

この機能を無効にすると、マイライブラリカード>貸出リストページにすべての貸出が表示されます。

Primoでページングを無効にするには：

1. **[Primoホーム]** > **[詳細設定]** ページで、**[すべてのマッピングテーブル]** を選択します。

[すべてのマッピングテーブル] ページが開きます。

2. ILSアダプターテンプレートテーブルを含む行で**[編集]** を選択します。
3. [サービス名]列で**get_loans**を検索します。
4. AlmaのアダプターID(**ALMA_01**など)を含む行のそれぞれについて、[テンプレートの呼び出し]列に太字で示したテキストを削除します。

```
{{api_base}}/view/rest-dlf/patron/{{patron_id}}/circulationActions/  
loans?lang={{lang}}&view=brief&type={{type}}&institution={{ils_user_institution}}&noLoans=
```

5. 変更を保存してマッピングテーブルに配置します。

ページングに関連付けられている追加の設定については、「[フロントエンドサブシステム](#)」の一括定義マッピングテーブルの**説明**を参照してください。

貸出リストのソート方向の設定

ユーザーパラメータ**primo_loan_list_sorting**により、Primoのマイライブラリカード>貸出リストで貸出がソートされる方向を設定することができます。デフォルトでは、貸出は期日による降順でリストされます。希望に応じて、返却期日の昇順にソートすることができます。

その他の設定を行うには、次の役職のいずれかが必要です。

- 一般システム管理者
- フルフィルメント アドミン

マイライブラリカードで貸出のソート方向を**?**更するには：

primo_loan_list_sortingを昇順か降順に設定します(「[その他の設定](#)」を参照)。デフォルトでは、リスト内の貸出は返却期日の降順にソートされます。